

令和6年度 DX戦略室 経営計画書

職・氏名	経 営 方 針	経 営 資 源				
副市長 難波 利光 	●使命 DX戦略室は、インターネットや携帯電話の普及に伴い、情報の受発信が身近なものとなった現代社会の中で、市民はもとより、学校や会社など市内で生活する人にとって、便利な情報ネットワークがあるまちづくりに加え、よりデジタルが市民や職員にとって身近となる環境づくりを目指します。 令和3年度から進めてきた行政内部のデジタル環境整備や活用促進による事務効率化、情報セキュリティ対策を今後も継続して進めるとともに、令和4年度から進めてきた行政手続等のオンライン化を拡大することにより「電子自治体」の実現を目指します。 ●基本方針 1. 行政手続き等のオンライン化を拡大します。 2. 市民への情報発信の充実を図ります。 3. 市民の情報格差を是正するための支援を行います。 4. 行政内部の業務効率化を図るため、デジタル環境の整備を継続して行い、業務改革(BPR)に着手します。 5. 情報セキュリティ対策やデジタル活用教育を行い、情報漏洩の防止や非常時の業務継続性向上に努めます。	所 管 課	DX戦略室			
		人 員	正職員	会計年度 任用職員	特別職	合計
			5人	1人	1人	7人
		一般会計	336,921 千円			
		特別会計	0 千円			
		計	336,921 千円			
		(うち人件費)	(48,017 千円)			

重点項目	内容	成果目標	進捗状況(3 月末)
1 行政手続き等のオンライン化	市税や使用料・手数料等の支払いの際、キャッシュレス決済が利用できるよう整備を進めます。	本庁や支所・出張所などでキャッシュレス決済ができる窓口を 11 か所増やします。	本庁生活環境課や建設課、長船美しい森や市内公民館など 11 か所にキャッシュレス決済ができる端末を設置し3月 26 日より運用を開始しました。

重点項目		内容	成果目標	進捗状況(3 月末)
2	市民への情報発信の充実	インターネットによる情報発信の充実を図ります。	地図データをベースにした情報を公開するなどインターネットを活用した情報発信を充実させます。	せとうちデジマップの公開により、インターネット上の地図に施設情報などの各種情報を公開しています。また、公式 LINE アカウントの維持を行い、セグメント配信を活用し、情報発信を行っています。
3	市民の情報格差是正の支援	高齢者がスマートフォンを利用して情報等が取得できるように支援を行います。	スマートフォン教室等を計画・実施します。	令和6年 11 月から令和7年2月まで、市内の公民館などでスマートフォン教室を開催し、延べ138人の参加がありました。
4	デジタル環境の整備および業務改革(BPR)による業務効率化	行政内部の業務効率化を図るため、支払証憑の電子化および生成AI導入の検証・実装を行います。	既存デジタル環境の活用により、継続的にBPRを実施するとともに、支払証憑の電子化および生成AIの内部利用の導入に向けた検証・実装を行います。	BPRについては、フロントヤード改革として庁内全体で施策を検討しました。支払証憑の電子化については、3月3日から運用を開始しました。生成AIの内部利用については、庁内でトライアル利用を行い、一定の効果が見込まれることから令和7年度より運用を開始します。
5	情報セキュリティ対策やデジタル教育による情報漏洩の防止と業務継続	テレワーク推進のほか、デジタル活用・定着化に向けた職員研修の実施およびセキュリティ遵守のための職員研修や定期的なセキュリティチェックを実施します。	・テレワーク環境の維持を行い、テレワーク推進を職員に周知し、利用を促進します。 ・全職員を対象としたデジタル活用教育を実施します。 ・全職員を対象としたセキュリティ教育の実施および情報漏洩事故 0、ウイルス感染事故 0 を目指します。	・テレワークの利用実績については、令和6年4月から3月末で延べ290人の利用がありました。利用の推進について、12月と1月に庁内研修を行いました。 ・業務用アプリを作成するための研修や生成AIの研修、DX推進のための課長級研修などを実施しました。 ・情報セキュリティに関するオンライン研修を全職員対象に実施しています。情報漏洩、ウイルス感染はありませんでした。